

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

中里北部地区は、区の西部に位置し、川崎や町田市に隣接し、古くからある住宅で、昭和40年代中頃より開発された住宅、団地等が混在しております。また、新しく宅地開発されたところもあり、世帯数、総人口は若干増加傾向にあります。

そのような中で、中里北部地区は、子育て、高齢者、障害児・者が集う場を、ボランティア団体、町内会、地域の団体が、ケアプラザや町内会館、学校等集う場を利用して、活発に活動している地域です。それぞれの団体や住民がつながり、気楽に声をかけあえる、相談し合える関係を築く事ができています。

かもマチ食堂も定例化してきており、子供から高齢者まで多世代の居場所となるよう次年度以降も継続しながら充実させていきます。

#### (1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

・月1回たちばな台エリアにおいて、地域包括職員が主体で出張相談を地域の場所を借りておこないました。

・地域ケアプラザの機能、役割についても周知活動を引き続きおこない、気軽に相談しやすい関係を築きました。

・子育て情報が得られるよう民生委員や子育て世代との意見交換をおこない子育てミニ広場や出張子育て広場をおこないました。

・障害児・者では地域活動交流 Co や生活支援 Co 等が新たな拠点づくりにむけての会議などに参加し課題を関係各所に提供し訓練会等の紹介をしました。

#### (2) 各事業の連携

・4月より生活支援 Co を配置でき、5職種が揃ったので、それぞれの専門性を活かして、情報の共有をしながら、地域の行事や会議等へ参加する事により地域で抱えている地域課題の把握に努めてきました。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・職種に応じた研修会や各種分科会には参加し知識向上や最新情報等取得できるよう努めました。
- ・5職種以外の常勤職員も含め年間研修計画を立て、常勤・非常勤問わず全職員が積極的に外部研修・内部研修に参加できる体制にし職員の資質向上を図りました。
- ・公正・中立な立場で業務に迎えるように職員間で共通認識が持てるよう職員会議等の場で伝えています。
- ・人事考課制度を取り入れる事で、職員ひとりひとりが、高くモチベーションを保てるように、取り組んでおります。
- ・8月以降欠員している職種の常勤職員の配置に勤めたが、全職種配置できたのが、12月21日でした。

### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・近隣の小・中学校とも連携し職業体験学習や地区防災会議、地区行事には5職種関係なく参加しています。
- ・中学校では年6回の運営協議会にも参加し幅広く繋がりを深めています。
- ・洋々な会議や事業を通し、地域の関連団体や関係機関とも繋がりを持つ機会を持ちました。

### (5) 区行政との協働

- ・所長会、各職種の分科会等で、区役所と情報共有、意見交換をおこないました。
- ・地域福祉保健計画の地区別推進会議では5職種全ての職員が関わりを持ち区役所・区社会福祉協議会との連携を図りました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ・子育て世代から高齢者まで多世代対象の事業を実施してきましたが講師の高齢化で継続が厳しくなった講座もでてきました。利用者の活動意識の高まりで貸館利用団体として登録し講座を継続する事ができたのは良かった。
- 障害者支援事業については、障害者支援専門のNPO法人と連携し引き続き本人、その家族のニーズをつかんでいき支援策を検討・実施していく活動をおこないます。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・貸館利用団体、ボランティア団体向けに交流会を開催した事でボランティア個人及び団体同士が繋がる機会を創出できたのは良かった。交流会は効果的と判断できましたので継続実施していきたいと思えます。
- ・毎朝、朝礼にて職員全員に貸館の利用状況を共有伝達することで貸館利用案内の対応をスムーズに展開できるようになりました。窓口職員だけでなく所内職員で連携し情報提供ができるよう今後もサービス向上に努めていきます。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

・ボランティアの高齢化に伴い、活動の継続が難しくなっている現状を踏まえ、昨年同様、広報誌や地域の集まりの場等を利用しボランティア活動の紹介をおこない新たなボランティアを増やす取り組みを継続的にこなっていきます。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

・福祉保健関係各所とのエリア会議や、地域の関係団体との会議等を通じ実態把握に努めてきました。地域が抱えている諸問題解決に向け所内5職種、関係機関・団体と協働で検討していく機会を設け事業展開をおこなっていきます。

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 事業実施体制

地域の行事や会議に参加し、各組織や活動団体が抱えている問題の把握に努め、持ち帰った情報や要望を所内で共有しました。地域活動の支え手の拡充を進めるために、地域の会議や行事のボランティアを若い世代に相談、調整するよう心がけました。住民だけでなく近隣の施設や薬局、介護保険事業所、NPO法人に地域の要望を伝え、協力を得る事ができ、協働で場づくりをおこなうことができました。

### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・5職種だけでなく、デイサービス職員、居宅介護事業所職員も、地域の行事への参加、学校や老人会での認知症サポーター養成講座に参加し、多職種で地域情報の把握に努め、職員会議にて振り返りをしています。  
・区社協や1層コーディネーターと地区支援目標、課題を共有し、確認をしています。それぞれに上がっている要望、活動支援を解決できるよう情報共有し、新たな連携先を地域に伝える事ができました。  
・既存のボランティア活動支援、新たな活動を創出するため、日常生活を支援するちよこボラの依頼の集計作業をしています。

### (3) 連携・協議の場

・介護保険事業所や医療関係者、介護施設に包括職員と出向き、地域が求めている交流会や、場づくりを提案。まずは各事業所や関係者の機能を紹介する場として、健康交流会、測定会、マーケット、かもマチ食堂の継続支援をすることができました。また、介護施設の運営推進会議への参加要請もあり、各施設の行事等の把握、担い手の調整をおこないました。  
・地区別推進会議や、ボランティア会議、連合町内会、各団体の会議に出席し、共通して挙がる担い手の拡充と情報共有については、各組織・団体へ相談し、解決に向け

た打ち合わせをしました。次年度に連携の場として、連絡会をおこなう予定です。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

居宅介護支援事業所や包括へのアンケート、サービス事業所との意見交換を通して現状把握に努めました。また、包括や1層・2層生活支援コーディネーターへ相談しながら、課題・目標を設定し、それに基づき、担当地区の老人会向けの交流会や健康測定会、認知症サポーター養成講座等事業を実施しました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

- ・ケアプラザ、地域包括支援センターの事業や老人会等、様々な機会でも地域包括支援センターが身近な相談窓口である事を周知しました。今後も継続していきます。
- ・会議や事業を通して、地域の各団体、区役所、区社協、民生委員等の関係機関とも繋がる機会を持ちました。また、個別のケースでは郵便局との関係を築く機会もありました。
- ・平成30年10月には、生活支援コーディネーターと連携して区・高齢者支援担当や担当地域内外の薬局、医療機関、介護保険サービス事業所と健康交流会の実施、相談の場を設けました。また、近場の居場所として「まちなかクラブ」や「かもした小さなマーケット」での事業を通して地域に根付く取り組みを継続しています。

#### ②実態把握

- ・生活支援コーディネーターと共に、地域で活動している団体と地域で取り組める事を検討し、平成30年1月から空き家を活用したコミュニティーサロン「かもした小さなマーケット」を実施しています。地域包括支援センターも相談ブースを設置、今後も取り組みを通して更にニーズを把握していきます。
- ・地区アセスメントや相談から、取り組む事業の計画をおこないました。
- ・民生委員や区役所からの相談事例では、状況確認のための訪問を通して状況の把握に努めました。
- ・今年度では、近隣区生活支援課と連携する機会がなく経過していますが、必要時には連携した関わりをおこないます。
- ・平成29年度の四半期報告の実績から訪問対応した地域をおおまかに分けて実態を確認しました。
- ・相談内容では介護保険での事が最多となっています。鴨志田町とたちばな台の人口(平成30年3月時点)に対する相談割合は鴨志田町3.9%、たちばな台2.9%であり、

電話相談と来所相談はそれぞれ鴨志田町 62.1%と 37.5%、たちばな台 66.4%と 33.5% でした。相談手段の割合はそれほど大きく変わりませんが、相談割合は 1%の差がありました。ケアプラザへのアクセスのしやすさ（しにくさ）がこのような結果に繋がっている可能性があるため、平成 31 年 4 月以降もたちばな台「まちなかクラブ」での出張相談を継続しておこなう事により、変化があるかを意識していきます。

### ③総合相談支援

- ・サービスガイド「あおば」、ハートページ、かながわ福祉情報コミュニティ等を使用して、必要な情報提供をおこなう事で公正中立の立場で相談者（または家族）が意思決定をできるような関わりを努めました。
- ・総合相談票や包括カンファレンス等を通して職員間での情報共有をおこない、継続性のある相談対応を心がけています。
- ・状況に応じた関係機関との連携を取る事で、希望時には在宅での生活が送れるように個別の支援をおこなっています。
- ・ケアプラザや地域包括支援センターの機能や情報がより伝わるように、チラシ作製にも配慮しました。回覧板やホームページの他にも住民同士の口コミから相談に繋がる事もあり、住民同士のネットワークの重要性も実感しました。

## （２）権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ケアマネジャーからの相談に応じて、認知症初期集中支援チームへの相談等、成年後見制度の利用に向けた支援をおこないました。
- ・地域での講話の機会に、消費者被害や成年後見制度の周知、周知した時期に開催される講座の情報提供もおこないました。
- ・平成 30 年 10 月に、青葉区基幹相談支援センターと共に青葉区自主事業「親あるうちの準備を考える」連続講座のうち 1 回を鴨志田地域ケアプラザで開催しました。
- ・平成 30 年 2 月に、区役所と青葉台地域ケアプラザと合同で、青葉区版エンディングノート「わたしノート」の書き方講座を開催しました。

### ②高齢者虐待への対応

- ・包括カンファレンスや、新任ケアマネジャー実習支援等の機会を通して、地域包括支援センター職員との関係性を保てるように心がけています。また、相談対応しているケアマネジャーともネットワークミーティングといった機会を通して役割の確認をしています。
- ・該当事例に対してはネットワークミーティングを通して関係機関での対応をしていますが、状況の変化があまりなく、長期化している事例では関係者が負担を感じる事がある状況です。
- ・状況・役割の確認をおこない、著名な変化がなく長期化している事例において、関係機関が役割に応じた対応ができる機会をその都度検討しました。

### ③認知症

・エリア内の全小・中学校から認知症サポーター養成講座の依頼があり、区役所・区社会福祉協議会・認知症キャラバンメイトの協力を得ながら認知症に関する取り組みをおこないました。

・平成 29・30 年度で老人会からの認知症サポーター養成講座の依頼があり、実施しています。前年度には、講座後の参加者への活動の場の検討もしましたが、具体的な企画・実施には至らなかった状況です。

・相談内容のうち、対象者が認知症であるケースが 10.9%（平成 30 年度四半期報告より）となっています。適宜、「認知症高齢者安心ネットワーク」「認知症初期集中支援チーム」「もの忘れ相談」といった行政サービスの情報提供を相談者やケアマネジャーにおこないました。

## （３）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

・見守り連絡会や地域ケア会議では、何らかの支援が必要と思われながらも地域との繋がりが希薄な高齢者が存在しているという課題が挙げられ、今後必要な方を資源に繋いでいけるような働きかけが必要である事を共有できました。また地域内でインフォーマル資源の開発や、必要とする人を既存のものを含めた資源に繋いでいく取り組みが始まっている事も共有する事ができました。

### ②医療・介護の連携推進支援

・「医療連携チーム会議」では区役所、青葉区医療連携拠点、看護職連絡会、区内の地域包括支援センター 3 職種の代表メンバーで、ケアマネジャー・訪問介護・訪問看護・病院看護職等を対象とした意思決定支援をテーマにチーム医療を担う人材育成に向けた研修を企画・実施しました。

・地域包括支援センターの合同カンファレンスのうち、1 回/年は居宅介護支援事業所主任ケアマネジャー、1 回は看護職、また訪問看護、薬剤師、リハビリ職との連携を年 1 回おこなう等、多職種と連携の機会が持てるよう支援しています。これにより個別ケース各々が抱える課題の解決に向けて、地域のサービス資源など広い知識を持って対応ができるように支援しました。

### ③ケアマネジャー支援

・合同カンファレンスを通じて、講義、グループワーク、勉強会等研修をおこないました。包括の合同カンファレンスのうち、1 回は居宅介護支援事業所主任ケアマネジャー、1 回は看護職、また訪問看護、薬剤師、リハビリ職との連携を年 1 回おこない、多職種と連携のパイプを築き、課題の解決に向けて関係機関と必要な連絡・調整等ができるように支援しました。

・平成 30 年度はケアマネジャー向けに介護予防従事者研修(区全体編、エリア編の計 2 回)を実施し、ICF 視点、ストレングスを活かした支援を推進しました。またエリア編では生活支援コーディネーターと連携し、地域のインフォーマル資源について周知をおこないました。

・この他、ねっとわーく青葉 エリア会議、区全体会議の計 2 回を開催しました。ま

た包括カンファ、各研修会の周知活動は、顔の見える関係づくりを目指して、地域包括支援センターよりエリア内各居宅への訪問を行いました。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・平成30年度の地域ケア会議は個別ケア会議、包括レベルケア会議各1回を開催しました。会議にはケアマネジャー、事業所、医療職、包括の他に区社会福祉協議会や区役所が参加しています。また包括レベルケア会議には生活支援コーディネーターに声をかけた他、民生委員等、多くの職種が参加しました。それぞれの立場での取り組みについての情報を共有しましたが、これら地域の社会資源をどう活かしていくかは今後の課題となっています。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

・介護予防ケアマネジメントでは、利用者の自主性を維持・向上を目指して訪問時やサービス担当者会議時には、利用者・関係者での情報共有を通してサービス・支援計画書を確認しています。

・平成30年度では、第1号介護予防支援事業の実績はありませんでした。

・青葉区役所・区内の地域包括支援センターと合同で居宅介護支援事業所を対象とした、介護予防従事者研修の企画・実施しました。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

・毎月1回の、あおばイキイキ!!元気塾「鴨ちゃん健康クラブ」を運動・口腔ケア・栄養改善プログラムでの内容で実施しました。

・元気づくりステーションでは、活動内容としてノルディックウォーキングの他にも「ハマトレ」にも取り組む機会を持ちました。また、広報の為にチラシの作成や栄養改善プログラムに向けた役割の検討をおこなっています。

・「ハマトレ」普及の機会として、ケアプラザ内情報ラウンジで週1回開催されている「皆で!はまちゃん体操」の機会に体験編から実施する機会を持ちました。また区役所との協働により、地域のクリニックでの勉強会の中で「ハマトレ」を実施する機会を持つ事もできました。

## 5 その他

・第2回あおばDEスタートでは会場、講師依頼及び事業の見学等おこなっています。

## 以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

- ・利用される方が、安心してご利用いただけるよう、電気・ガス・エレベーター・消防等の保守管理は専門業者に委託し、施設の適正管理に努めました。
- ・毎月1回休館日、設備巡視点検も専門業者に委託しておこなっています。日常的な管理は職員が点検をおこない、不具合がないか維持管理しています。
- ・今年度の大規模な修繕としては、エアコン室外機のエンジン交換、消防用設備の大幅な交換、雨漏り対策のシーリング工事などおこなっています。保守点検はおこなってきてはいるが、設置10年以上稼働してきている機械に対し部品の生産中止となってきたものが増えてきているのが現状です。
- ・日常の清掃業務は、専門業者に委託しておこなっていますが、それ以外毎朝夕、職員による、清掃にて消毒をおこない、感染症予防に努めました。また、貸し館利用団体の方にも、利用後は清掃をおこなっていただき、来館者同士がお互い、気持ち良く使っていただけるよう働きかけ、設備の異常等があった際にはすぐに対応できるよう早期発見、早期対応に努めました。

#### (2) 効率的な運営への取組について

- ・地域包括支援センター、生活支援体制整備事業、地域活動・交流、通所介護、居宅介護支援が連携し1ヶ月に1回の職員会議で事業内容の確認、近況報告をおこない又法人各部署とも連携し効率的な運営に努めてきました。
- ・年間予算内で運営していくために、法人と連携を取りながら設備、備品、消耗品等、公平性を保つために相見積など経費削減に努めてきました。

#### (3) 苦情受付体制について

- ・苦情相談窓口について、施設内に掲示し周知するとともに、契約時にも説明しています。
- ・ケアプラザ全体で、苦情受付体制の強化を図るため、職員は日常的なコミュニケーションを大切にし、苦情や要望を言いやすい環境にしていくよう努めました。
- ・受け付けた要望や苦情に関しては、マニュアルに沿い迅速に解決できるよう努めるとともに、記録に残し職員間で共有し再発防止に努めました。
- ・法人においては「第三者委員会」を設置しており、要望、苦情に対し指導・助言をいただき、様々な視点から、問題解決する取り組みをおこないました。



#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・福祉避難所として地域の方々に周知し災害想定して開設準備マニュアルを職員間で共有し災害に備えています。又応急備蓄物資を毎年在庫の確認、入れ替え等して適切に管理しています。
- ・防災マニュアル・消防計画を定期的に見直すとともに、消防計画に基づいて避難訓練及び消火訓練を2回おこないました。又地域の防災訓練にも参加させていただき、地域と共に連携し災害時に対処できるよう心がけています。
- ・夜間職員が不在になるときは、委託業者によるセキュリティー管理をおこない防犯管理しています。

#### (5) 事故防止への取組について

- ・法人内で設置している第三者委員会に年2回参加し他事業所の発生事故の傾向や対策又委員からの助言等職員間で情報共有し事故防止の取り組みに役立てました。
- ・ヒヤリーハット等職員間で共有する事で事故防止に努めています。
- ・区役所より情報提供のあった事故報告については、その都度職員に回覧し全職員で共有し、起こりうる事故ととらえるよう注意喚起をしました。
- ・事故が発生した場合マニュアルに沿って適切な対応と関係機関への報告を実施し、再発防止に向けて速やかに職員間で、原因究明と再発防止案の検討、振り返りを実施しています。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報保護規程・横浜市鴨志田地域ケアプラザ個人情報マニュアルに基づき、個人情報保護に関する書類の管理や使用方法を徹底してきました。
- ・各職員入職時と年に1回以上は研修をおこない、常に意識しながら業務がおこなえる体制にしています。
- ・記録や個人情報が記載されている書類等施錠されている棚で管理し、パソコン等は専門業者に依頼してセキュリティー管理をおこなっています。
- ・個人情報をFAXする場合は、個人情報が特定できないよう、マスキングをし、送付の際は必ず2人対応でおこないました。

#### (7) 情報公開への取組について

- ・月1回発行している広報誌「鴨めーる」だけでなくホームページ等活用する事によってあらゆる人へ情報が届くよう努めました。

#### (8) 人権啓発への取組について

- ・職員に対して、外部・内部での研修の機会を作り、ひとりひとりが人権についての意識が高まるような取り組みをしました。
- ・様々な人が交流をもてる、場づくり、機会づくりを通して、人権啓発への取り組みをおこなってきました。
- ・小・中学校でおこなわれる人権週間、人権教育に、ケアプラザとして「認知症サポート養成講座」を行ない認知症を知る際に、人権啓発へつなげるよう働きかけました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

・ G30 への取組を引き続きおこない、ゴミの分別と減量化にも努めてまいりました。又自主事業やサークル活動で出たゴミは館内利用者に持ち帰って頂くよう協力をお願いしています。

・ 水光熱費は年間で一覧にして職員への周知をおこない、省エネ活動への意識づけをおこないました。又館内利用する利用者が快適に利用できる範囲でも取り組んできました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 主任ケアマネジャー 1名（常勤専従）
- 社会福祉士 1名（常勤専従）
- 保健師 1名（常勤兼務）

#### 《目標に対する成果等》

- ・ 介護予防支援、介護予防ケアマネジメントにおいては、利用者の主体的な活動と意欲を高めることができるよう、訪問時やサービス担当者会議での関わりを通して、取り組みました。
- ・ 公正中立な立場として情報提供をおこない、利用者の選択に基づいて適切なサービスが確保されるよう、関係機関との連絡調整等をおこないました。
- ・ 担当地域の対象に対し、可能な限り在宅で自立した日常生活を送る事ができるよう、関係法令等に基づき、必要な介護予防支援・介護予防ケアマネジメントに取り組みました。
- ・ 地域包括支援センター内でも、密な連携、情報交換、共有をおこない、相談から支援計画の作成からサービスの利用まで、できるだけスムーズな対応を心がけました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

#### 《利用者実績》

※ 4月単位は省略してください。 6月 7月 8月 【9月 人】

90	89	87	89	88	89
10月	11月	12月	1月	2月	3月
84	88	85	82	81	80

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 介護支援専門員 4名（常勤専従1名 常勤兼務1名 非常勤専従2名）

《目標に対する成果等》

- ・ サービス事業所と顔の見える関係を築くために、近い事業所について、書類は出来る限り手渡しで持っていくように努めました。また、本人の状態の変化についても密に連絡を取り合い、情報共有に努めました。
- ・ 職員1人1人の個のスキルアップのために、職員研修、包括カンファレンス、ケアマネジャー連絡会等には積極的に参加しました。
- ・ 職員間の連携も密にし、担当者が不在の時にも、他のケアマネジャーが対応出来るよう業務の時から情報共有に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

区役所や地域包括支援センターと迅速に連絡を取る事で、利用者の相談も速やかに解決することが出来ました。

《利用者実績》

※	4月 単位は省略してください。	5月	6月	7月	8月	9月 【単位：人】
	43	45	46	46	43	47
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	53	54	55	52	54	55

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 生活指導    ●機能訓練    ●介護サービス    ●健康状態の確認
- 送迎        ●給食            ●入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

I. 介護報酬にかかる費用

（利用者負担：介護保険負担割合証に定められた負担割合を適用）

区分	現在の介護度	通常規模単位（金額）		内容の説明
		1割	2割	
A 基本額	要介護1	572単位（614円）	1,144単位（1,227円）	6時間以上7時間未満のサービス提供に対する1回あたりの料金
	要介護2	676単位（725円）	1,352単位（1,450円）	
	要介護3	780単位（837円）	1,560単位（1,673円）	
	要介護4	884単位（948円）	1,768単位（1,896円）	
	要介護5	988単位（1,060円）	1,976単位（2,119円）	
B 加算額	入浴介助体制加算（対象者のみ）	50単位（54円）	100単位（108円）	1日につき
C 加算額	認知症加算（対象者のみ）	60単位（65円）	120単位（129円）	1日につき 日常生活自立度Ⅲ以上
D 加算額	サービス提供体制強化加算（基本加算）	6単位（7円）	12単位（14円）	1日につき
E 加算額	介護職員処遇改善加算（I） 介護報酬総単位数（A+B+C+D）×5.9%×10.72 の1割又は2割負担			1月につき
利用額	A+B+C+D+E			

※送迎減算：事業所が何らかの理由で送迎を行なわなかった場合、負担額より片道47単位（504円）を、減算します。

II. 運営基準で定められた「その他の費用」（利用者全額負担分）

- ・食費負担（おやつ含む）700円/日

《事業実施日数》 週6日・祝日含む（月～土）

《提供時間》 9:45 ~ 16:00

《職員体制》

- 管理者1名（常勤兼務）
- 生活相談員3名（常勤兼務3名）
- 看護職員4名（非常勤兼務4名）
- 機能訓練指導員4名（非常勤兼務4名）
- 介護職員13名（常勤兼務2名・非常勤兼務11名）

《目標に対する成果等》

・「人との関わりを大切にした施設」をテーマに取り組みをおこないました。ケアプラザ内の事業と協力し、地域の方たちにボランティア募集をおこない趣味活動のサポートや社会交流の場づくりとしてご利用者に提供をおこなってきました。

午前中は趣味活動として麻雀・囲碁・将棋・オセロなどや脳トレーニングとしてクロス

ワードや言葉並べ、数独など各種をそろえ、個別に実施。ご本人の希望に合わせてボランティアにも関わっていただき談笑しながら活動をおこないました。

午後は、機能訓練を曜日ごとに特色を出して企画。本人の希望を聞くことで、意欲も高まり目標とした効果も高まりました。書道や創作レクでは教室として実施。編み物や俳句では昔やっていた方も多く、ご自宅でもおこない、俳句を考えて来られる方もいらっしゃいました。いろいろな活動をおこなう事で、本人の能力を引き出す事ができております。

自己選択が困難な方へは、ご家族にも意向を伺いながら本人にとって必要とされるケアを考え実施。歩行させてほしいという希望から1日の目標を決めてフロア内歩行することや、ケアプラザ敷地内での歩行訓練も取り入れてきました。

・社会交流としては、ご希望者に地域ケアプラザ内での演奏会やイベントにも参加していただき地域活動に参加いただけるきっかけづくりをおこなっております。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

・ご利用相談では、ご家族に寄り添う形で迅速に対応が出来るように配慮し、ご家族やケアマネージャーと一緒に個別処遇を考えサービス提供をおこなっております。

・地域ケアプラザの役割でもある地域とのつながりを大切に、職員だけではなく多くの方が触れ合う場を提供できるように心がけております。学生や児童たちとの交流の場やボランティア活動をいただくことでお互いが生きがいと感じていただき、ご利用を楽しみにしていただけるよう取り組みました。人との関わりで気を付けなければいけないことは多くありますが、今後も風通しの良い環境づくりに努め在宅生活を支えていけるように提供をおこなってまいります。

#### 《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
435	506	495	484	468	472
10月	11月	12月	1月	2月	3月
495	481	479	474	466	526

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 生活指導    ●機能訓練    ●介護サービス    ●健康状態の確認
- 送迎        ●給食            ●入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

I. 介護報酬にかかる費用

（利用者負担：介護保険負担割合証に定められた負担割合を適用）

区分	介護度	通常規模単位（金額）		内容の説明
		1割	2割	
A 基本額	要支援1 週1回まで	1,647 単位 (1,766 円)	3,294 単位 (3,532 円)	6時間以上7時間未満のサービス提供に対する1カ月あたりの料金
	要支援2 週1回利用	1,647 単位 (1,766 円)	3,294 単位 (3,532 円)	
	要支援2 週2回利用	3,377 単位 (3,621 円)	6,754 単位 (7,241 円)	
B 加算額	要支援1 週1回利用	24 単位 (26 円)	48 単位 (52 円)	1月につき
	要支援2 週1回利用	24 単位 (26 円)	48 単位 (52 円)	
	要支援2 週2回利用	48 単位 (52 円)	96 単位 (103 円)	
C 加算額	介護職員処遇改善加算 (I)	介護報酬総単位数 (A+B) ×5.9%×10.72 の 1割又は2割負担		1月につき
利用額	A+B+C			

II. 運営基準で定められた「その他の費用」（利用者全額負担分）

- ・食費負担（おやつ含む） 700 円/日

《事業実施日数》 週6日・祝日含む（月～土）

《提供時間》 9:45 ～ 16:00

《職員体制》

- 管理者1名（常勤兼務1名）
- 生活相談員3名（常勤兼務3名）
- 看護職員4名（非常勤兼務4名）
- 機能訓練指導員4名（非常勤兼務4名）
- 介護職員13名（常勤兼務2名・非常勤兼務11名）

《目標に対する成果等》

- ・定期的に支援の方には、立位で体操をおこなっていただくことを実施。又、歩行訓練でも下肢筋力低下予防を目標とし、フロア歩行を自主的におこなっていただいております。
- ・選択できるリハビリレクの時間を実施する事で、興味を持っていただいた事に取り組んでいただきました。体を動かす事や脳トレをおこない認知症予防も取り入れております。体操の時間には、セラバンドや棒などを使った体操やコグニサイズも取り入れて身体機能の向上を目指しました。

- ・一日を通してご利用いただけるため、多くの方との交流の時間を持つ事ができ、独居生活で困難となっている方への入浴も支援しております。
- ・地域ケアプラザの講座なども情報提供をおこないながら、地域に出ていく機会を持つように働きかけをおこないました。ご希望者に地域ケアプラザ内での演奏会やイベントにも参加していただいております。通所介護以外の事業などにも興味を持っていただけるようにご案内をおこなっております。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・その方に必要とされる生活の援助を確認しながら、自立していただく事が目標ではありますが、より良い生活が送れるように各職種と連帯を持って生活を支援しております。地域ケアプラザの特色を生かし、ご家族も含めた地域での取り組みも紹介しご家族でご利用いただけるように取り組みをおこなっております。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
5	5	5	5	5	5
10月	11月	12月	1月	2月	3月
4	5	5	5	5	7



# 平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
リフレッシュエアロ	地域住民		地活		46200		120000	16600	
		182	包括						
		254	介護						
			生活						
書を楽しむ会	地域住民		地活		166800		156000	54220	
		204	包括						
		818	介護						
			生活						
悠タみのリサロン	地域住民		地活		27600		20000	53532	
		121	包括						
		228	介護						
			生活						
シルバーリハビリ体操	地域住民・高齢者		地活		94000		96000	1060	
		177	包括						
		531	介護						
			生活						
体操教室ひまわり	地域住民・高齢者		地活						
		185	包括						
			介護						
			生活						
鴨志田ウォーキングクラブ	地域住民		地活		7000			10056	
		125	包括						
		56	介護						
			生活						
笑和会	地域住民(男性高齢者)		地活		44000			52679	
		109	包括						
		404	介護						
			生活						
鴨のお楽しみ会(折り紙)	地域住民		地活		12900		12000	8179	
		49	包括						
		263	介護						
			生活						
鴨志田フォトクラブ	地域住民		地活		26000		56000	2002	
		176	包括						
		148	介護						
			生活						
畑プロジェクト	地域住民		地活		72000			101629	
		24	包括						
		3000	介護						
			生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
鴉の花のとも①②	地域住民		地活					
	157		包括					
			介護					
唄声喫茶 風歌	地域住民・高齢者		生活		226900		215320	157645
	791		地活					
	287		包括					
カフェひるがお	地域住民		介護		9600			13839
	96		生活					
	100		地活					
布あそび	地域住民		包括					
	114		介護					
			生活					
鴉のお茶の間	地域住民		地活		7500			24656
	111		包括					
	68		介護					
絵手紙教室	地域住民		生活					
	114		地活					
			包括					
サロン健康マージャン	地域住民		介護					
	733		生活					
			地活					
デッサンから学ぼう	地域住民		包括					
	218		介護					
			生活					

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域交流デー	夏休みの異世代交流、ボランティアの発掘、貸館利用者のボランティア活動のきっかけとして開催します。	7月・年1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
リフレッシュエアロ	夕方からエアロビクス講習会。健康と異世代交流を目的におこないます。	月2回 毎月第1・第3水曜日 15:30～17:00
事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ！健康マージャン教室	地域住民の仲間づくり、ボランティア活動に繋げる目的で開催します。講師は貸館利用団体のボランティアが担います。茶話会等企画し、交流を図ります。	毎年6月～3月 毎月2回 第2、第4水曜日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てミニひろば	関係機関と地区内の集まり場に出向き、子育て世代の孤立化を防ぐ取り組みとして開催します。遊びを通して、気軽に相談できる関係を築いていきます。	年5回 5月16日、7月18日、9月19日、1月16日、3月19日（各第3木曜日）
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
書を楽しむ会	地域住民の交流事業。書道を通して地域での仲間づくりを目的におこないます。講師は近隣住民が担い、住民同士の情報交換の場として活用していきます。	月2回 毎月第1水曜日 10:00～12:00 毎月第3水曜日 10:00～12:00
事業名	目的・内容	実施時期・回数
歴史さんぽを楽しむ会	地域の歴史を学び、町歩きをおこないます。参加をきっかけに地区の行事や活動に関心を持ち、ボランティア活動で発展できるよう活動紹介もおこなっていきます。	月1回 毎月第1月曜 13:30～
事業名	目的・内容	実施時期・回数
悠夕みのりサロン	地域住民の孤立化を防ぎ、関係を深める目的でおこないます。住民による講座、食事作りも一緒におこなう参加型のサロンです。	月1回 毎月第4水曜日 15:00～18:00

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバーリハビリ体操	介護予防を目的におこないます。講師は近隣の介護施設職員に依頼して、ストレッチ、ボール、レクリエーション等、個々の身体に合わせて健康維持を目標におこないます。	月2回 毎月第2、第4火曜日 14:00～15:00
体操教室ひまわり	介護予防、同年代の仲間づくりを目的におこないます。地区の保健活動推進員の協力を得ながら、高齢者の孤立化を防ぎます。	月2回 毎月第1、第3火曜日 13:30～15:00
鴨志田ウォーキングクラブ	健康維持、地域住民の仲間づくり、情報交換の場として開催します。コース検討から実施、親睦会を参加者が関わりながらおこなっていきます。	月1回 毎月第2水曜日 10:00～
笑和会	主に男性対象の調理実習を通して、地域で活躍できるよう、ボランティア団体の紹介や地区の行事等を紹介しながら、ボランティア活動に繋げていきます。	月1回 毎月第4火曜日 10:00～13:00

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鴨のお楽しみ会	折り紙、クラフト等作品作りをきっかけに、住民同士の交流をはかる場としておこないます。参加後に地域のサロンなどで学んだ事を披露できるよう、適宜活動紹介もおこなっていきます。	隔月1回 第1木曜日
鴨志田フォトサロン	季節に合わせた撮影会と講評会を企画、交流会として食事会等も、参加者が主体的になりおこなっていきます。	月1回
畑プロジェクト	地域住民の交流を目的におこないます。季節ごとに計画表、作業表を参加者が作成、地域のお祭りやサロンにも企画してボランティア活動へ促していきます。	月4回主に火曜日 (その他必要に応じて随時)
お茶の手習い	エリア内のコミュニケーションハウスを利用して、お茶会を開きます。講師は近隣住民と他事業の参加者が担い、地域で活躍する人を増やしていきます。	月1回 毎月第2月曜日 14:00～16:00
鴨の花のとも① ②	生け花をきっかけに、住民の交流を図ります。講師は近隣住民が担い、生け花の基本から季節に応じた作品作りも企画して、異世代交流の場としておこないます。	月2回 毎月第2木曜日 13:00～16:00 毎月第4木曜日 10:00～13:00
唄声喫茶 風歌	歌唱をきっかけに住民の知り合う場、交流が持てる内容でおこないます。毎回、茶話会の時間を設けて情報交換もできるように実施していきます。	月2回 毎月第1土曜日 13:00～15:30 毎月第3木曜日 13:00～15:30

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン健康マージャン	近隣住民の輪作り、ボランティア活動に繋げる目的で開催します。貸館利用団体、他事業参加者がアドバイザーとして参加し、地域で活躍できるよう支援もしていきます。	月2回 毎月第2、第4月曜日(午前・午後) 午前:10:00~13:00 午後15:00~18:00
デッサンから学ぼう	地域住民対象の交流を目的に開催します。コラージュ、墨絵、水彩画など、個々の希望に合わせて作品作りができる、手作りの会です。	月1回 毎月第1月曜日 午前クラス 10:00~12:00 午後クラス 13:00~15:00
カフェひるがお	ラウンジを解放して地域の作業所による手作りパンの販売と飲み物の提供を地域のボランティアの協力を得ながら交流の場として開催します。	月2回 毎月第1火曜日 11:30~ 毎月第3火曜日 11:30~ (売り切れ次第、終了)
布あそび	裁縫をきっかけに地域住民の仲間づくりとして行います。作品の準備は参加者もできる範囲で行い、手作りの会として開催します。	月1回 毎月第1火曜日 9:30~11:30
鴨のお茶の間	地域住民同士の仲間づくり、ボランティア活動に繋げる目的で開催します。参加者が地域で活躍できるようきっかけ作りもおこないます。	月1回 毎月第1、第3金曜日 13:30~15:00
絵手紙教室	自由な題材で季節を描き、思い出のメッセージを絵手紙にして作る会。絵手紙を通じて地域住民の交流を目的に開催します。	月1回 毎月第3金曜日 10:30~12:00
かも☆ん	子育て世代の親子の広場。参加者同士が同じ空間をともに過ごす事で子育てのヒントがもらえたり、お友達ができたり、孤立化を防ぎます。	月2回 毎月第1、第3火曜日 10:00~12:00 (祝日は休み) 「あおぼふれあいの助成金」の配分を受けて実施。

平成30年度「鴨志田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,337,000	1,046,548	19,383,548	18,253,222	1,130,326	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入	1,000,000		1,000,000	1,079,650	△ 79,650	
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理料充当分)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	△ 3,990,000		△ 3,990,000	△ 3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
収入合計	19,337,000	1,046,548	20,383,548	19,332,872	1,050,676	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,713,000	0	10,713,000	9,552,847	1,160,153	
本俸	6,651,000		6,651,000	7,252,458	△ 601,458	
社会保険料	837,000		837,000	624,031	212,969	
手当計	2,334,000		2,334,000	1,585,735	748,265	
健康診断費	44,000		44,000	35,637	8,363	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	841,000		841,000	49,423	791,577	
その他	6,000		6,000	5,563	437	
事務費	4,739,000	0	4,739,000	4,418,946	320,054	
旅費	7,000		7,000	14,823	△ 7,823	
消耗品費	160,000		160,000	44,725	115,275	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	58,000		58,000	58,781	△ 781	
通信費	114,000		114,000	107,610	6,390	
使用料及び賃借料	3,990,000	0	3,990,000	3,990,000	0	
横浜市への支払分	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	4,000		4,000	3,730	270	
職員等研修費	3,000		3,000	32,625	△ 29,625	
振込手数料	1,000		1,000	1,070	△ 70	
リース料	35,000		35,000	18,576	16,424	
手数料			0	10,485	△ 10,485	
地域協力費			0	15,000	△ 15,000	
その他	367,000	0	367,000	121,521	245,479	
事業費	392,000	0	392,000	1,515,703	△ 1,123,703	
運営協議会経費	42,000		42,000	12,020	29,980	
指定管理料充当 事業	350,000		350,000	1,503,683	△ 1,153,683	
管理費	3,765,000	1,046,548	4,811,548	5,223,320	△ 411,772	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	1,470,000	0	1,470,000	3,575,194	△ 2,105,194	
電気料金	471,000		471,000	1,146,726	△ 675,726	
ガス料金	410,000		410,000	997,992	△ 587,992	
水道料金	589,000		589,000	1,430,476	△ 841,476	
清掃費	831,000		831,000	782,792	48,208	
修繕費	474,000	1,046,548	1,520,548	1,847,829	△ 327,281	
機械設備費	315,000		315,000	315,343	△ 343	
設備保全費	510,000	0	510,000	408,039	101,961	
空調衛生設備保守	103,000		103,000	0	103,000	
消防設備保守	57,000		57,000	57,336	△ 336	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	32,000		32,000	32,491	△ 491	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	318,000		318,000	318,212	△ 212	
共益費			0	0	0	
その他	165,000		165,000	180,783	△ 15,783	
公租公課	857,040	0	857,040	764,227	92,813	
事業所税			0	0	0	
消費税	857,040		857,040	764,227	92,813	
印紙税			0	0	0	
その他( )			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	20,466,040	1,046,548	21,512,588	21,475,043	37,545	
差引	△ 1,129,040	0	△ 1,129,040	△ 2,142,171	1,013,131	

自主事業費収入	350,000		350,000	1,079,650	△ 729,650	自主事業への参加料等
自主事業費支出	350,000		350,000	1,503,683	△ 1,153,683	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 424,033	424,033	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「鴨志田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,315,000	0	23,315,000	19,798,282	3,516,718	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	144,168	6,832	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,106,747	682,253	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	29,255,000	0	29,255,000	25,049,197	4,205,803	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,534,000	0	25,534,000	17,193,435	8,340,565	
本俸	14,517,000		14,517,000	9,452,999	5,064,001	
社会保険料	3,830,000		3,830,000	2,487,687	1,342,313	
手当計	6,684,000		6,684,000	4,852,832	1,831,168	
健康診断費	42,000		42,000	32,521	9,479	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	416,000		416,000	306,208	109,792	
その他	45,000		45,000	61,188	△ 16,188	
事務費	1,000,000	0	1,000,000	583,567	416,433	
旅費	45,000		45,000	29,846	15,154	
消耗品費	228,000		228,000	68,114	159,886	
会議贈い費			0	0	0	
印刷製本費	47,000		47,000	49,069	△ 2,069	
通信費	116,000		116,000	123,512	△ 7,512	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費	2,000		2,000	0	2,000	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	2,238	762	
職員等研修費	12,000		12,000	2,625	9,375	
振込手数料	35,000		35,000	10,412	24,588	
リース料			0	71,280	△ 71,280	
手数料			0	15,145	△ 15,145	
地域協力費			0	17,500	△ 17,500	
その他	512,000	0	512,000	193,826	318,174	
事業費	1,290,000	0	1,290,000	5,757,723	△ 4,467,723	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	
指定管理料充当 事業（包括）	200,000		200,000	2,808	197,192	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	144,168	6,832	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	5,106,747	△ 4,797,747	
管理費	1,431,000	0	1,431,000	1,388,472	42,528	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	390,000	0	390,000	950,368	△ 560,368	
電気料金	125,000		125,000	304,826	△ 179,826	
ガス料金	108,000		108,000	265,289	△ 157,289	
水道料金	157,000		157,000	380,253	△ 223,253	
清掃費	220,000		220,000	198,322	21,678	
修繕費	126,000		126,000	241,382	△ 115,382	
機械整備費	84,000		84,000	83,825	175	
設備保全費	136,000	0	136,000	108,462	27,538	
空調衛生設備保守	27,000		27,000		27,000	
消防設備保守	15,000		15,000	15,240	△ 240	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	9,000		9,000	8,636	364	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	85,000		85,000	84,586	414	
共益費			0	0	0	
その他	475,000		475,000	48,055	426,945	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一三対応費			0	0	0	
支出合計	29,255,000	0	29,255,000	24,923,197	4,331,803	
差引	0	0	0	126,000	△ 126,000	

自主事業費収入	0		0	0	0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	0	0	自主事業経費
自主事業収支	0		0	0	0	

管理許可・目的外使用許可収入			0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	



★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 鴨志田地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,000,000	2,970,231	29,769	10,095,000	7,812,545	2,282,455	64,560,000	52,873,016	11,686,984	1,357,000	1,474,927	-117,927
	その他	2,000,000	1,760,193	239,807	1,000,000	1,101,370	-101,370	5,321,000	6,210,859	-889,859	143,000	112,000	31,000
	介護予防ケアマネジメント費	2,000,000	1,760,193	239,807			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	受託収入			0	1,000,000	1,101,370	-101,370			0			0
	利用者等利用朗収入			0			0	3,721,000	4,055,600	-334,600	143,000	112,000	31,000
				0			0			0			0
	その他			0			0	1,600,000	2,155,259	-555,259			
	<b>収入合計(A)</b>	<b>5,000,000</b>	<b>4,730,424</b>	<b>269,576</b>	<b>11,095,000</b>	<b>8,913,915</b>	<b>2,181,085</b>	<b>69,881,000</b>	<b>59,083,875</b>	<b>10,797,125</b>	<b>1,500,000</b>	<b>1,586,927</b>	<b>-86,927</b>
支出	人件費			0	9,945,000	11,455,876	-1,510,876	51,401,000	52,117,108	-716,108			0
	事務費			0	900,000	758,913	141,087	10,116,000	3,538,501	6,577,499			0
	事業費			0	250,000	257,475	-7,475	5,192,000	5,130,142	61,858			0
	管理費			0			0	4,672,000	5,490,825	-818,825			0
	その他	3,600,000	3,328,899	271,101	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	3,600,000	3,328,899	271,101			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	<b>支出合計(B)</b>	<b>3,600,000</b>	<b>3,328,899</b>	<b>271,101</b>	<b>11,095,000</b>	<b>12,472,264</b>	<b>-1,377,264</b>	<b>71,381,000</b>	<b>66,276,576</b>	<b>5,104,424</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>1,400,000</b>	<b>1,401,525</b>	<b>-1,525</b>	<b>0</b>	<b>-3,558,349</b>	<b>3,558,349</b>	<b>-1,500,000</b>	<b>-7,192,701</b>	<b>5,692,701</b>	<b>1,500,000</b>	<b>1,586,927</b>	<b>-86,927</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。